



北海道白樺高等養護学校

コミュニティ・スクールたより

～ 第 2 号 ～

令和6年9月13日(金)

北海道白樺高等養護学校

学校運営協議会事務局

■第2回学校運営協議会



9月3日火曜日、第2回学校運営協議会を開催いたしました。今回は、資料をもとに事務局から「本校の地域貢献について」「本校の教育課程について」というテーマを説明した後、二つのグループに分かれて熟議を行いました。

■本校の地域貢献について

3学年の総合的な探究の時間『地域貢献』の進捗状況の説明を行いました。今回は夏休みに、「地域に役立つことを何か一つやってみよう」という課題を出し、「中学校のイベントのお手伝い」「ゴミ拾い」「夏まつりで太鼓演奏」等の回答がありました。生徒の感想は、「ゴミ拾いをしたら感謝された」「ご苦労様と声をかけられた」等でした。

「子供の頃のポジティブな体験は、成人期のうつが減少する」という研究結果もあり、「地域の伝統行事に参加するのが好き」とであると、大人になってから地域に居場所があることにつながると言えるのではないかと話題となりました。

熟議は、1グループは、「祭りの手伝いやボランティアなどはハードルが高い」「本人が地域のために何ができるかを考えるだけでも、良い活動になる」「保護者が地域で何をやっているかに左右される」「ハザードマップを作ったり、地域の歴史を調べたりする学習も良い」「地域に関心をもつだけでも学習になる」「学校と地元と、二つの地域がフィールドにあるのは良い」などのお話がありました。



2グループでは、「自分の住んでいる地域で、何ができるかを考え、何かをして感動を与えたことは素晴らしい取組」「一学期のゴミ拾いの体験から実施した生徒もいる」「中学校は、地域との関わりが少ないと感じている生徒が多くいるという調査結果があった」「子ども時代のポジティブな体験として、地域での行事への参加を今後も続けてほしい」「在学中の生徒にとって、学校が中心だ

夏休みの課題

『地域に役立つことを何かひとつやってみよう』

中学校のイベント(吹奏楽部)の手伝い

お祭りの手伝い/ゴミ拾い/太鼓部の演奏/子ども食堂の見学/防災訓練のお手伝い/ラジオ体操のハンコ押し/祭りのゴミ拾い

生徒の感想(夏休みの課題)

○ゴミ拾いをしたら、地域の人に感謝された。きれいになることで気持ちよく過ごせる場所になったと思った。

○太鼓の演奏で笑顔を増やしたい。

○ゴミを拾っていたら、地域の人から「ご苦労様」と声をかけられ、やりがいを感じた。

○子ども食堂では、大人二人だけでやっていてとても大変そうでした。今回は血洗いをしました。これからもボランティアのお手伝いをしたいと思いました。

地域に居場所があるということ

子ども時代のポジティブな体験

家族と自分の気持ちについて話せる

つらいときには家族がそばにいてくれる

家庭で、安全で大人に守られていると感じる

学校に居場所がある

地域の伝統行事に参加するのが好き

家族以外に少なくとも二人、自分のことを真剣に考えてくれる大人がいる

上記のことが多いほど、成人期の心理社会的なサポート 増加

成人期のうつ 減少 (Bethell, C et.al.2019、山口,2024)

が、地域へ視野が広がることで、卒業後、地域で生きることを知る機会になったのでは」「地域を知ること、孤立を防ぎ、興味が広がり、コミュニケーションを広げること」「やってみようという意識を拡大し、トライしてほしい」等の意見が出ました。

■本校の教育課程について

本校では、教育課程の改善を図っています。特に総合的な探究の時間や作業学習、現場実習では、実際に地域社会で学習を体験することで、新しい発見をしたり、生徒自身が自ら成長を実感する貴重な体験となります。今後も地域社会とのつながりを大切にした教育課程の編成を目指し、実社会で、達成感、自信、感謝される体験、人の役に立つ、働く意欲、豊かな生活などを念頭に置きながら様々なことについて検討する等の説明をしました。

1 グループでは、「輪厚 PA の販売では、本校を知らないお客様が多い」「お客さんと直接触れ合うことで励みに」「セイコーマートにコンクリート製品のポスターを貼っていると、興味をもってくれる人がいる」「答えを急がずに、いろいろな考えを出していくというのは良い」等の意見がありました。

2 グループでは、「知らない方にお礼を言われたり感謝されたりするなどよい体験」「しらかば店の案内のポスター掲示の依頼に白樺の生徒が来た時、コンクリート作業の大変さなどを誇らしげに語っていた」「バス停清掃したことを、掲示することで地域に活動が見える形に」等の意見がありました。また、「地域から本校はどのように見えているのか」という話

題となり、「高等養護学校について知らない方が多い」「一般就労できる生徒もいるということについても理解されていない」「白樺があるという発信も大切」「地域とのつながりを大切にして取り組み、地域に取組が認められ、依頼を受けるような地域とのつながりを築いてほしい」などの意見がありました。

Ⅰ 教育課程の改善に向けて

- ・今年度のグランドデザインの具現化を図り、本校の教育課程の特徴である「作業学習」、「体力づくり」、「進路学習」を中心に、かつ、現在の学習指導要領の主旨に沿って、教育課程の改善を図っております。
- ・特に、総合的な探究の時間や作業学習、現場実習では、実際に地域社会で学習を体験することで、新しい発見をしたり、生徒自身が自ら成長を実感したりするなどの貴重な学習となります。
- ・今後も、生徒が地域社会の一員であることを自覚し、役割や責任を果たす社会人となるためにも、地域社会とのつながりを大切にした教育課程の編成を目指します。

3 今後の教育課程の編成に向けて

- ・(1) 地域での学習活動 どのような力を育成 目的、意義の整理
- ・(2) 実社会で自らの力の検証と改善に向けて、達成感、自信、感謝される体験、人の役に立つ、働く意欲、豊かな生活
- ・(3) 総合的な探究の時間(地域での課題解決の過程を通した学び)
- ・(4) 作業学習(作業を学習の中心にしなが、地域の役に立つ体験をととして、働く力を育む)

■今後について

今年度は、様々な形で地域に出て、地域の皆様に本校についてより知っていただく機会となるようにしていきたいと考えています。そして、本日の熟議内容から、目的や時期などを明確にして計画することや学校を知っていただくことを課題として、今後の教育活動に活かして参ります。

10月9日には作業製品販売会「しらかば店」を本校会場として開催しますので、本校生徒の活動の参観機会として来校いただけたらと思います。次回の熟議は、12月3日(火)です。どうぞよろしくお願いいたします。